Panasonic®

カンタッチ ブレーカ

サーキットブレーカ BKF-50P　漏電ブレーカ BKFE-50P

8M8 044 003　施工説明書　取扱説明書

施工説明書

施工店様へ
● 施工には電気工事士の資格が必要です。
● 施工前に必ずお読み頂き、確実に配線してください。
● 施工完了後、この説明書を必ず取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

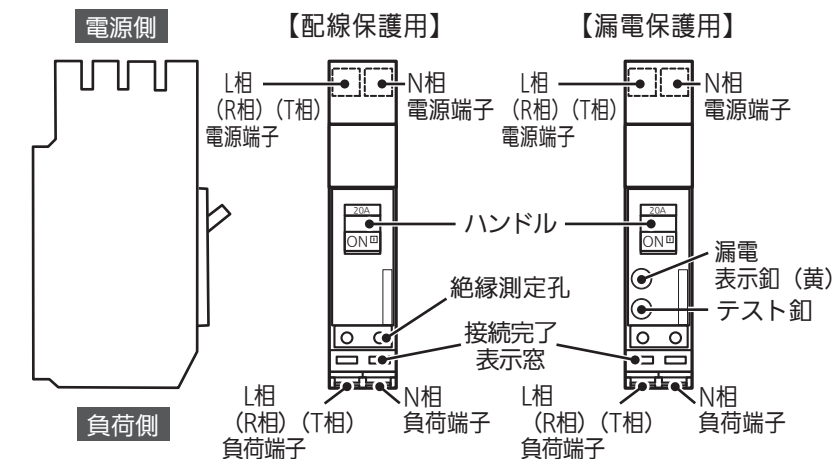
⚠危険

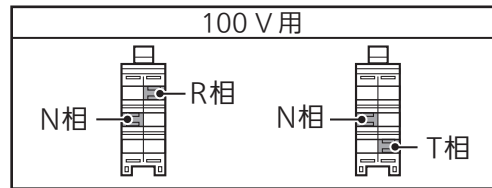
必ず守る
● 施工・点検時には必ず主幹ブレーカを切る
～電源が入ったままの施工は感電の原因になります～

禁止
● 線間電圧による感電の保護はできません【漏電保護付】
～2本の電線を握ると感電し、漏電動作はしません～

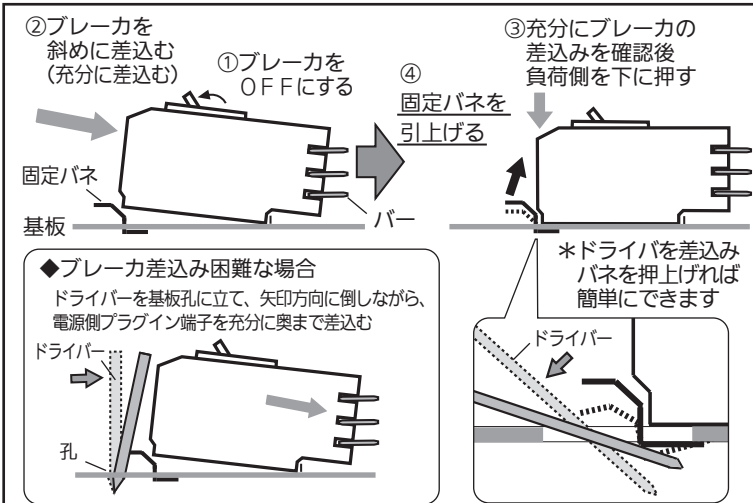
⚠注意

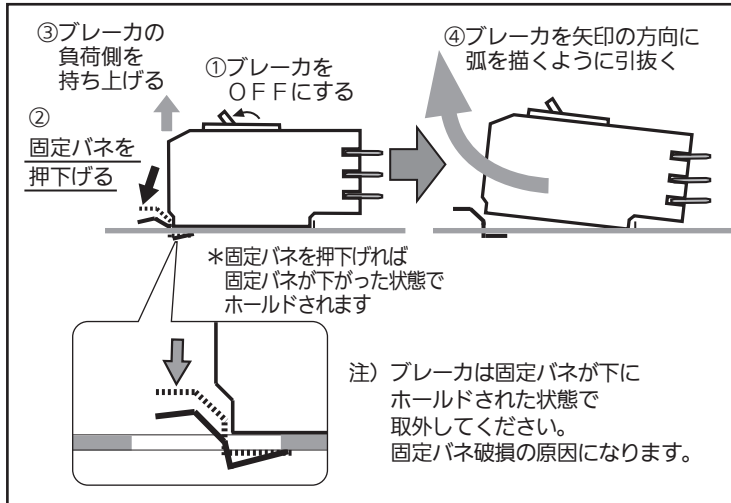
必ず守る
● 弊社分電盤取付け専用
～他社の分電盤に取付けると発熱・発火の原因になる場合があります～
● 負荷側速結端子への電線接続は、接続完了表示窓全体が白色になるまで、電線を奥まで差込む
～差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります～

■各部のなまえ

■取付けの前に

● 電源側のプラグ端子配列と取付けるバーの相の位置とが合っているか確認してください。（電圧の確認も行ってください）

■定格・品番

型名	フレーム	定格電流	定格感度電流	品番
BKF-50P	50AF	20 A	—	BKF2201RNK
				BKF2201TNK
BKFE-50P			30 mA	BKFE22031RNK
				BKFE22031TNK

■ブレーカの取付け

注）ブレーカは奥まで充分に差込み、バネで確実にホールドしてください。

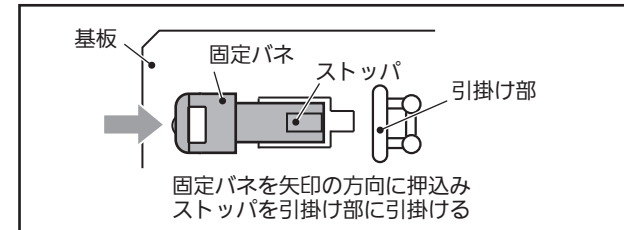
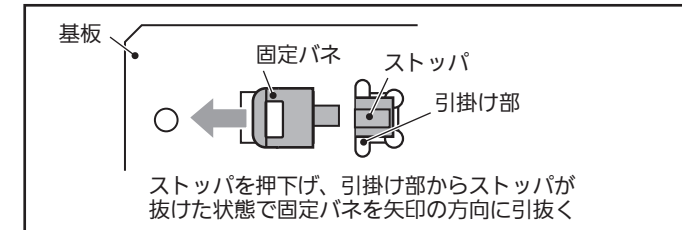
■ブレーカの取外し

注）交換可能なブレーカ品種は当社カタログをご参照ください。

■固定バネの取付け

固定バネを矢印の方向に押込み
ストッパを引掛け部に引掛ける

■固定バネの取外し

ストッパを押下げ、引掛け部からストッパが抜けた状態で固定バネを矢印の方向に引抜く

裏

■施工上のご注意

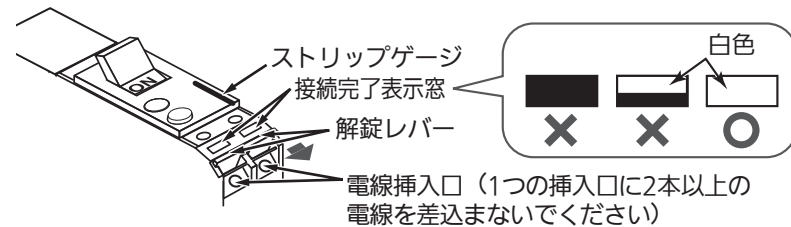
【共　　通】● 温度・湿度・粉塵・腐食性ガス・振動・衝撃・直射日光など、異常な周囲環境での使用は避けてください。
●使用周囲温度 ：－10 ℃～＋60 ℃
●使用相対湿度 ：45 %～85 %
（盤内温度が40 ℃を超え50 ℃以下の場合80 %以下、50 ℃を超え60 ℃以下の場合70 %以下の負荷電流率としてください）
● 施工時、機器内部に異物（電線クズやコンクリート壁材など）が入らないようにしてください。

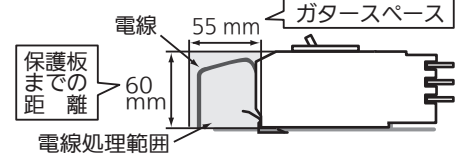
【漏電保護付】● 負荷機器には必ずアースをとってください。（感電の原因になります）
● 線間絶縁測定は端子から電線を外して、電線間で行ってください。
● 結線後、主幹ブレーカを入れた後ハンドルを「ON」にしてからテスト釦を押し、動作の確認をしてください。

【速結端子への接続（共通）】　＊ 接続電線：φ1.6・φ2.0・φ2.6Cu（銅）単相専用

● 電線の被覆をむく。（本体のストリップゲージに電線を合わせ、18 mmむいてください）
● 電線を差込む。（電線挿入口から入れ、接続完了表示窓全体が白色になるまで差込んでください）

注）接続完了表示窓全体が白色にならない場合は、接続が不十分です。発熱・発火の原因になりますので接続し直してください。
＊電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向に押しながら電線を引いてください。

解錠レバーの押込み力は約10 Nです。
押込み荷重が高すぎる（100 N以上）と破損にいたる場合があります。

より線サイズ	適合棒圧着端子品番【パナソニック製】
1.25 mm²・2.0 mm²	BB9924
3.5 mm²・5.5 mm²	BB9921
8.0 mm²	BB9922

注）接続電線は電線処理範囲内で配線してください。
（範囲外に出ると電線被覆を傷つけ、感電のおそれがあります）

取扱説明書（保管用）

取扱者様へ
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● 点検・交換には電気工事士の資格が必要です。
● 取扱前に説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
● この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

⚠危険

禁止
● 端子部にはさわらない
～感電の原因になります～

⚠注意

必ず守る
● 点検や修理は電気工事店へ依頼する（この説明書を提示する）
～不良工事は火災の原因になります～

■取扱上のご注意

【共　　通】● ハンドルの再投入「ON」後、即動作する時は負荷回路が短絡状態か、ブレーカが異常です。電気工事店へ点検を依頼してください。
【配線保護用】● ブレーカが動作した時は原因を取り除いた後、ハンドルを「ON」にしてください。
【漏電保護付】● 線間絶縁測定は端子から電線を外して、電線間で行ってください。
● ブレーカの動作を確実にするため、負荷機器には必ずアースを取ってください。
● 定期的にテスト釦を押して、ブレーカが「OFF」になることを確認してください。
● テスト釦を通常の「OFF」操作には使用しないでください。
● ブレーカが動作した時（漏電表示釦（黄）がとび出していない時）は、使用機器をへらした後ハンドルを「ON」にしてください。

■漏電表示釦（黄）がとび出した時の処置　【漏電保護付】

● 動作したブレーカの回路が漏電しています。（電気工事店へ点検を依頼してください）

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

施工店　　　　電　話

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ電路株式会社
〒571-8686　大阪府門真市門真 1048 番地　TEL（代表）06-6908-1131

8M8 044 003
PC0509-30112